

蒲郡市の財政健全化

一般会計のようす

平成19年3月、本市は財政健全化チャレンジ計画を改定しました。この主な理由は小泉政権の「三位一体の改革 予算なき権限という名ばかりの事務委譲」により国庫補助や交付税の引き下げにありま

す。本来、国の補助金などをあてにせず、市税増を積極的に目指すべきところでしょう。しかし、市民税の伸びも見られないなか、企業誘致もままならず、やっと5ヶ所の企業用地候補が決まったところです。

これは、小泉・竹中政権が信奉した、米国の「新自由経済主義」の破綻による100年に一度（麻生首相談）の景気悪化により流動的となっ

ていますが、今後は県の企業庁に積極的に働きかけるなど、本市の迅速な動きを求めます。  
また、企業の業績悪化や、それともなう雇用の不安定化などいろいろな要因があるでしょうが、市税

などの滞納が急激に増えてまいりました。本市は滞納整理を続けていますが、今や市の予算（一般会計約230億円）の1割を超えてしまいました。

これは本市の運営、税の再配分教育、福祉、景気対策、街づくりなどにとても大きな足かせとなっています。よりいつそう、市の無駄遣いを厳しく正してまいりますので、どうぞ公平なる徴税にご協力くださいますようお願いいたします。

もちろん、後世にツケを回さないため、借金を減らすよう強く求めてまいります。事実、少しずつですが減ってきています。

さて、歳出についてです。平成21年度は10%のマイナス予算を目指します。これは非常に大きな措置で、職員のよりいつその削減や地域手当の廃止にも進みます。もちろん、議会費も削減します。すべて、財政健全化計画を達成させるためです。

しかし、単にお金を使わないことだけ求めますと、事業をやめてしま

いかねません。実際、公共性の低い事業はやめる傾向にあります。これは結構ですが、公共性の高い事業には、よりいつその市民サービス向上を求めます。

ひとつの事例として、指定管理者制度の導入があります。これは、公

共施設の管理、運営を民間団体に任せるといふものです。  
形原町にある公園グラウンドの場合、管理者自らが芝の張替えなどをやり、数千円の利用削減効果がありました。管理者のやる気、行動



芝が整備された公園グラウンド

力で多大なる市民サービスの向上が得られた良い事例です。

施設の民間委託も考えられます。市が直接やらなければ不安だという声もありますが、先の事例のように市の指導のもと、よりいつその市民サービス向上を目指せると考えます。

特別会計のようす

特別会計のひとつに競艇事業があります。国の特会と違い、透明性は確保されています。競艇事業の儲けは、本年度は40億円程度になります。しかし、本市自体が思わしくないため、競艇職員にはつめに火をともし思いでがんばっていただいています。

これほど儲かる企業ならボーナスを弾むところでしょうが、それもなく従事員のみなさまには我慢を強いており、申し訳なく思います。

また、近隣住民のみなさまには通年ナイターレース、周辺整備の遅れや河川管理のあり方などご迷惑をおかけしております。これらの早期

解決も、強く求めてまいります。

さて、来年以降の競艇事業の様子ですが、どれほど努力を促しても、収益は半減する可能性があります。理由としては、大きなレースが一つしか来ないこと、そして他の競艇場も通年ナイターレースをはじめることなどがあります。

この予測は本市にとって危機的なものです。

本年度当初予算では区画整理と下水道整備に13億円、市民病院に13億円出しました。12月補正予算で10億5千万円を市民病院に出しました。3月補正予算で数億円をまた市民病院に出すことになるでしょう。

そこで、来年度の当初予算では競艇事業の貯金（財政調整基金）も使って乗り切るようになります。しかし、本年度のように補正予算をつけるとなれば、その貯金も使い果たすこととなります。

では、その次の年、つまり2年後はどのようになるでしょう。もちろん、一般財源では3大事業への繰り出し

を賄うことができません。重要なインフラ整備をやめてしまうか、市民病院の抜本改革をするかしかありません。

私は「市民病院は市民の病院としてなんとしてでも残す」との強い意志を持って、繰り出し上限の見えない（30億円に届こうとしている）市民病院の抜本改革を求めます。

残された期間は2年しかありません。改革は資金のあるうちしかできません。このように考えると今、踏み込むべきではないでしょうか。

### 総選挙と地方行政

小泉政権による財政再建「骨太の方針」は一定の理解はできません。しかし、社会保障費1兆1千億円の削減は政権内部の誰も、これほど地方を疲弊させ、異常事態に追い込むかを予測できなかったのではないのでしょうか。もし予測できていたというなら、悪魔的としか言いようがありません。

国の政治は地方の行政に直接つ

ながっています。市の幹部は夜もおちおち眠れないでしょう。ここに至ってもぐっすり眠っていらっしやる方はいないでしょう。議会で厳しく追求する場面もあるのですから。でも、どれほど追求しても市議会から国政を変えることは非常に困難です。

今でも時々「政治は誰がやっても変わらない」と耳にするのですが、閉塞感というのは以前より増してひどくなっているように思えます。しかし、みなさまお一人お一人の力こそが国の政治を変えられる唯一の手立てなのです。蒲郡市のために、だからこそ、今度こそ変わることを期待しています。

### 議会報告

9月議会

一般質問

- 1、男女共同参画について
- (1) 保育園での取り組み
- (2) 小中学校での取り組み
- (3) 蒲郡市の取り組み



ポートピア川崎場外発売所

- (4) 地域の取り組み
  - (5) 個人の取り組み
  - 2、蒲郡市の将来像
  - (1) 教育学園都市か
  - (2) ベッドタウンか
  - (3) 企業都市か
  - (4) 農業・水産振興都市か
  - (5) 観光都市か
  - (6) エンターテインメント都市か
  - (7) 地方政府を視野に入れて
- 質疑及び反対討論
- 第82号議案・競艇事業補正予算  
ポートピア川崎損失補填付委託

## 新実祥悟のマイレポリューション 第9号

12月議会

一般質問

1、来年度の職員数と市民サービス

(1) 来年度の職員数について

(2) 臨時職員数について

(3) 臨時職員の処遇について

(4) 処遇改善について

(5) 市民サービス低下回避

2、競艇事業について

(1) 来年度の開催日程について

(2) 従事員数と配置について

(3) 売り上げ予想について

(4) 基金の状況について

(5) 繰り出しについて

3、来年度予算について

(1) 歳入の予定について

ア、各市税収入の予定について

イ、補助金、交付金について

ウ、地方債について

エ、市税滞納について

(2) 歳出について

ア、債務残高について

イ、マイナスシーリングについて

ウ、人件費総額について

エ、他会計繰り出しなど予算配分

4、国からの定額給付金について

(1) 給付の実現性について

(2) 高額所得者に対する対応

(3) 給付方法と担当部署について

(4) 事務経費と実費弁償について

5、愛知県の不正経理について

(1) 本市の見解について

(2) 本市の事業計画と適正な査定

(3) 本市のチェック機能について

### 蒲郡市議会の評価

平成20年12月12日付中日

新聞朝刊に全国806市・区議会の

公開性、活性化の度合いを市民団体が

調査した結果が載っていました。

それによりますと蒲郡市議会は1

番だそうです。私一人でどこにも

属さず、伸び伸びと議会活動させて

いただけることを蒲郡市議会及び、

市民のみなさまに感謝します。